



総合防災訓練を実施しました



備蓄食料や非常灯を実際に手にしてみました（肢・中高の様子）



就業技術科生徒が整備した備蓄倉庫を見学（肢・小1・2年の様子）



生徒全員が煙ハウスで火災時の避難を体験しました（就の様子）



非常電源付きの避難用教室（就業技術科教室）を見に行きました（肢・小3～6年の様子）



鍵谷先生から児童・生徒に向けて災害時に大切なことを教えていただきました。

肢体不自由教育部門では、地震発生時の避難訓練と合わせて、映像による学習、災害備蓄品や備蓄倉庫の見学、非常時に使用する就業技術科教室の見学（非常電源の確認）をオリエンテーリング方式で実施しました。就業技術科では、煙体験を実施し、災害時の模擬体験を通して、安全な避難方法について学習しました。

肢体不自由教育部門では、講師に防災教育のエキスパートとして、鍵谷一先生（跡見学園女子大学教授）をお迎えし、就業技術科では、金町消防署水元出張所の皆様にご協力いただきました。

講師の先生方からは

- 災害時は、「水」と「トイレ」の確保が重要であること。
- 災害があっても水元小合学園の校舎は安全な建物なので、先生の指示をよく聞いて、友達や先生と仲良く過ごすこと。
- 火災の（煙が発生している）際は、身を低くして避難することが大切である。

というお話がありました。

今回の学習をきっかけに、災害があったらどう対応するか、何を準備しておけばいいかなどをご家庭でもお子さんと一緒に考えていただければ幸いです。